

ガの幼虫の大量発生で葉が枯れ、枝や葉が剪定された
 デイゴの木＝12日、豊見城市平良



デイゴにガの幼虫

葉が枯れ、県が剪定 豊見城



【豊見城】こ 幼虫は通りの店舗に入り
 とし8月ごろか 込んだり、通行人の衣類に
 ら、豊見城市の豊見城交 つかたりしており、住民
 差点から同市保栄茂を結ぶ から苦情が出ている。
 県道7号添いのデイゴの葉 県南部土木事務所は9日
 に大量のガの幼虫が食い から13日に、デイゴの木45
 付き、葉の多くが茶色に変 本の枝や葉の剪定をした。
 色する被害が出ている。 ガの生態に詳しい鹿児島大

学農学部教授の坂巻祥孝准教授は「写真で判断したところ、幼虫はベニモンノメイガか近縁種の幼虫と思われる」と話した。

ベニモンノメイガは日本に土着のガ。大発生について坂巻准教授はデイゴが開花しないなど被害を与えているデイゴヒメコバチの駆除のため薬剤が使用されている点に着目。「葉によつてガの天敵がいなくなつた可能性がある」と話す。飲食店を営む男性は「店の外壁にへばりついている幼虫もいた。店内にも入ってきた。こんなことは初めてで驚いている」と顔をしかめていた。



デイゴの葉に食いついたベニモンノメイガの幼虫と思われる虫（県南部土木事務所提供）